

Hitachi Migration Service

マイグレーション サービス

既存資産を生かしつつ
新しいプラットフォームへの移行を実施

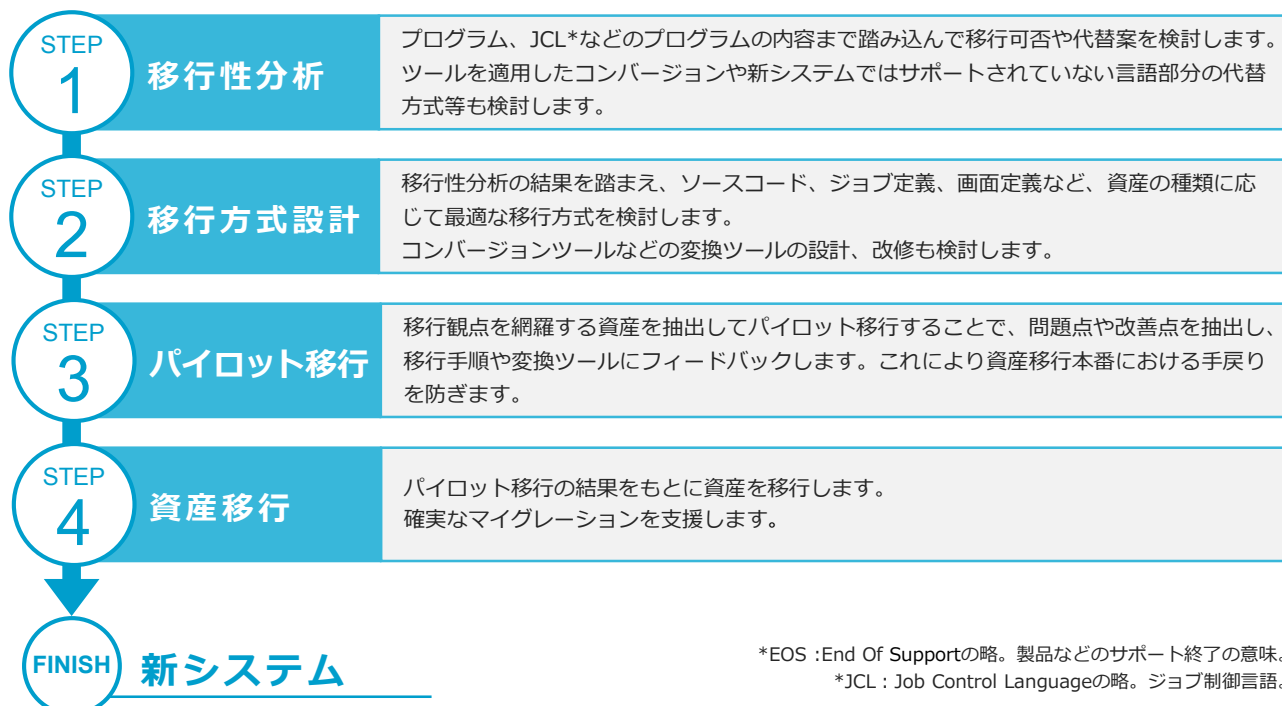
日立のマイグレーションサービスが課題を解決します

- 現行システムのハードウェア、プラットフォームのEOS*対応が必要
- ホスト、オフコンなどの現行システムの有識者、技術者が不足
- エンハンスの繰り返しでソースコードが肥大化し維持メンテが困難
- ランニングコストの削減、ITコストの適正化に十分対応できていない

効率的なマイグレーションを実現する4つのステップ

レガシーシステムのマイグレーションにより、現行システムの課題である、老朽化、技術者不足、高コスト、ブラックボックス化などの課題が解決されます。

日立のマイグレーションサービスは、
「4つのステップ」で効率的なマイグレーションをサポートします。



*EOS :End Of Supportの略。製品などのサポート終了の意味。

*JCL : Job Control Languageの略。ジョブ制御言語。

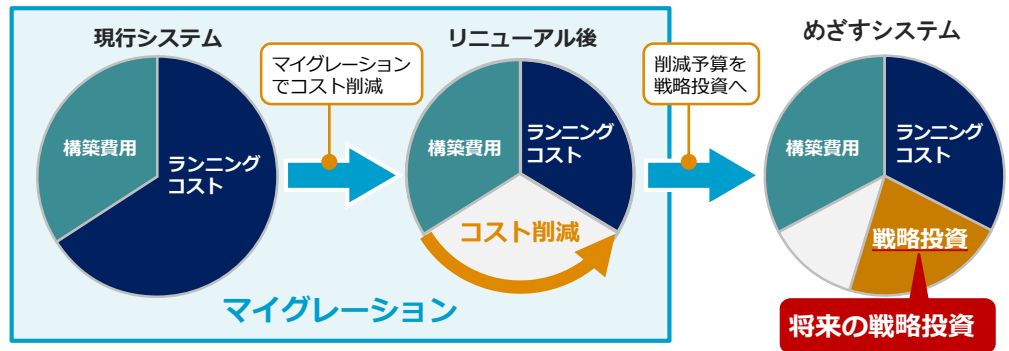
マイグレーションのメリット



コスト減

将来の戦略投資へ

マイグレーションにより、ランニングコストを削減し、将来の戦略投資につなげることができます。



※円グラフの比率は一例です。



スピードアップ

変化に強いシステムへ

マイグレーションにより、変化に強いシステムに生まれ変わることができます。世の中の流れや変化に対応しやすくなり、結果としてビジネススピードがアップします。

マイグレーションサービスの特長

■ 長年の実績で培った変換ツール

日立は長年のマイグレーション実績で改良してきた変換ツールを保有しています。その変換ツールをお客さまのシステムの特徴に合わせてカスタマイズして資産を変換します。このため、効率よく確実なマイグレーションが実施できます。

日立のALMサービス*との組み合わせで、さらに効率良く、リスクを抑えて

レガシーシステムでは資産の肥大化や複雑化により、マイグレーションに踏み切れない場合があります。事前に日立のALMサービスを利用すると、資産の棚卸による移行対象のスリム化、現行仕様の可視化が可能です。このため、効率良く低リスクでマイグレーションを実施できます。

*ALMサービス：Application Lifecycle Management サービスの略。現行資産を可視化することで、システムの保守効率向上をサポートします。



導入実績

業種を問わず、小規模から大規模システムまで多数の実績があります。他社プラットフォームからのマイグレーションやホストからオープンプラットフォームへのマイグレーションの実績があります。

サービス費用

対象となるシステムの資産の種類や規模、成果物などにより個別見積もりとなります。サービスご利用をご検討の場合はお問い合わせください。

●サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせは下記へ

■日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/appsvdiv/>